

古事類苑

帝王部二十六

外戚上

天皇ノ外戚ハ、上古ニ在リテ固リ之ヲ特待セル跡ナキニアラズト雖モ、未ダ其制度ノ見ルベキモノアラズ、其之アルハ蓋シ近江朝廷ノ頃ナルベシ、然レドモ當時ノ制ノ今ニ存セザルヲ以テ亦之ヲ知ルニ由ナシ、大寶ノ制ヨリ以後其制ト例ト昭々トシテ致フベシ、凡ソ天皇ノ外戚タルモノハ、毎ニ其官位ヲ進メ、三宮ニ準ジテ封戸ヲ給ヒ、直衣ヲ著スルヲ聽シ、臺盤所ニ入ルヲ得シムルノミナラズ、其病ムニ及ビテハ度者ヲ賜ヒ、諸寺ニ布施シ、神祇ニ奉幣シ、或ハ天下ニ大赦シ、賑給ノ令ヲ發シ、以テ之ヲ救濟スルコトアリ、其犯罪アル、皇太后ノ四等以上ノ親、皇后ノ三等以上ノ親モ皆六議ノ恩典ニ霑ヘリ、是レ其生前ニ於ケル待遇ナリトス、其没スルヤ天皇爲ニ錫紵ヲ服シ、或ハ帛衣ヲ除キ、廢朝ノ事ヲ行ヒ、或ハ賻物葬儀ヲ賜ヒ、贈位贈官ノ使ヲ發シ給フ等ノ事アリ、而シテ其尤モ貴顯ナルモノニ至リテハ、警固固關シ、爲ニ節會ヲ停廢シ、其墓ハ山陵ニ準ジテ墓戸ヲ置キ、荷前ヲ進メ、天下事アル時ニハ必ズ之ニ告グルヲ以テ例トセリ、是レ其死後ニ於テ享クル所ノ待遇ナリトス、

外戚ガ其生前死後ニ於テ享クル所ノ待遇ハ、大要此ノ如シ、是ヨリ少カ其故事ニ就テ陳ブル所アラントス、茲ニ我國家ノ治亂盛衰ノ跡ヲ歴覽スルニ、外戚ニ關係スルモノ實ニ尠シトセズ、神武天皇ヨリ十一代ニシテ垂仁天皇ノ朝ニ至ル、此時始テ外甥狹穗彥ノ反アリ、後